15 説明文 段落のつながり（P60〜63）

例題

(1) 音
(2) イ
(3) ① 月や地球の中
　　② 波
(4) ① ア・イ
　　② 表面から一

確認問題

(1) サンゴ・サンゴガニ
(2) 4
(3) エ
(4) ウ
(5) （例）粘液にからんだごみをとってくれる。
(6) ウ

《解説》

(1) 2段落の中ほどに「サンゴとサンゴガニの間には、何か特別な関係があるにちがいない」とあります。これがこの文章で話題としていることです。

(2) 「何を食べているのか」という問いに対して、3段落では、〝悪者論〟なる考え方がしめされています。しかし、実際はどうだったか、4段落で答えています。

(3) (2)でわかったように、4段落は、3段落の考え方とはちがうけっかをしめしています。したがって、「しかし」が入ります。

(4) 5段落では、サンゴガニはサンゴの粘液を食べている、という4段落を受けて、その食べ方について説明をくわえています。

(5) 「まんざら悪いことでもない」ということは、サンゴにとってもよさがあるわけです。次の7段落で説明しています。

(6) (1)でのべたように、サンゴガニとサンゴの関係はどんなものかを大きなぎ問として、「カニ類はいったい何を食べているのか」「サンゴにとってカニはめいわくな存在」かどうか、という二つの問題をときあかすことで、答えをさぐっています。

16 説明文 文章の要点（P64〜67）

例題

(1) ウ
(2) サツマイモは
(3) ① イ　② ア　③ ウ　④ ウ

確認問題

(1) ア・イ・ウ・オ
(2) 歯のへりぐあい
(3) もらいものを値ぶみすることになって、失礼なことになる
(4) ① エ
　　② おくってくれた人の気持ち

《解説》

(1) つづく二つの段落で、馬がわたしたちの生活にはたしていた役割があげられています。さらに次の段落のはじめに「このように、馬はたいへん価値のある家畜で」と同じような文でしめくくられていることも、ヒントです。エは、本文中には書かれていません。「通信」の場面で活躍していたという、にたような内容がありますが、これは、手紙などをとどけるのに馬を使ったということです。カは、馬は「高価なプレゼント」だったという内容にふさわしくないため、まちがいです。

(2) 馬の売り買いを専門とする「ばくろう」は、馬の年齢によって値だんを決めるため、年齢のわかる「歯のへりぐあい」を見ているとあります。

(3) 「馬をもらった人が、馬の口をのぞくと」という書き出しの部分に注目し、同じような表現を本文中から見つけましょう。

(4) ① 35行目の「つまり、ことわざの意味は」という書き出しの部分に注目しましょう。「つまり」は、それまでのべてきたことをまとめて言いかえるつなぎことばです。このあとに、まとめて書かれていることになります。

② 最後の一文、「このことわざは……教えてくれています」に注目しましょう。